
俺の妹

雪花

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺の妹

【Nコード】

N7290B

【作者名】

雪花

【あらすじ】

いつまでも子供で居て欲しい。いつまでも俺の後を追いかけていて欲しい。「妹」の番外編でお兄ちゃんからの視点で描いています。「妹」を読んでからお読みください。

俺の理想の女性は、年下でいつも俺の後を追っかけ回すあいつ。

母親の学生時代からの親友の娘。

あいつが小さい時からずっと一緒に居る。

いつもあいつは俺の後を追いかける。

10歳も年下な奴。

小さい時あいつは無邪気に

「お兄ちゃんのお嫁さんになるんだ」
って言ってた。

もちろん10歳も年下で俺から見たら妹。
そんな言葉本気になんてしてなかったんだ。

でもいつからか俺はあいつの事を妹じゃなくてただの女として意識
してる。

いつからなんか分からない。

気が付いたら俺は、あいつの事を女として見てた。

でもあいつは・・・

俺の事をお兄ちゃんとして見ていない。

そう知ってるんだ。

だから俺はこの気持ちを伝える事なんて出来ない。

伝えたら・・・

あいつを悩ませるだけだと知ってるから。
このぬくい関係を壊したくない。
そう思ったから。

ずっと俺の後ろを追いかけてたあいつ。
ずっと子供だっと思ってた。
ずっと俺の後を追いかけてるって思ってた。

でもいつかは大人になる。

あいつが高校に合格した時に本当は抱きしめてやりたかった。
どれだけ苦労したか俺がよく知ってるから。

「よくやったな。」

そう言っただけ抱きしめてやりたかった。
でも抱きしめるなんて事はできない。
抱きしめたら・・・
二度と離れなくなるから・・・

頭を撫でた。

あいつがすねると俺は決まって頭を撫でて

「まだまだ子供だよな。」

そう言った。

まだまだ子供で俺の後を追いつくあの時のままで居て欲しかったから……

あいつを心から追い出す事なんてできない。

あいつ以上に愛せないかもしれない。

でも……

あいつ以上に幸せにしてやる。

産まれてくる子供を幸せにしよう。

俺は結婚した。

結婚式で泣くあいつ。

本当に俺は兄としてしか見られてなかったんだな。そう実感した。

「おめでとう。」

あいつが笑顔で言った。

俺はあいつが妹で良かった。

これからもあいつの頭を撫でていこう。

いつかあいつが結婚して子供が産まれたら、
頭を撫でよう。

そして抱きしめてやろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7290b/>

俺の妹

2010年10月14日01時05分発行